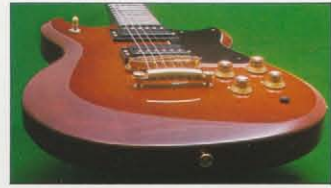
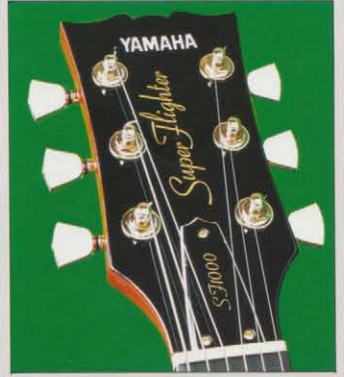


New

SF

いまだかつてない、鮮やかでブライتنا音の広がり。ハンパッキングに新しい流れをつくった、SFシリーズ。



バックカット & トップカット・ボディ——体にびたりと軽く、スリムにフィットするバックカッティング。プレーヤーと一体の抜群の演奏性。サイドエッジを落し、腕とボディがベストフィットするトップカッティング。ピックアップは一段とスムーズ。(SF全機種)



24フレット・フィンガーボード——2オクターブの24フレット。さらに、新採用のダブルカットウェイ。ハイポジションでの演奏性は、よりスムーズで自由。サウンドに幅が出た。(SF全機種)



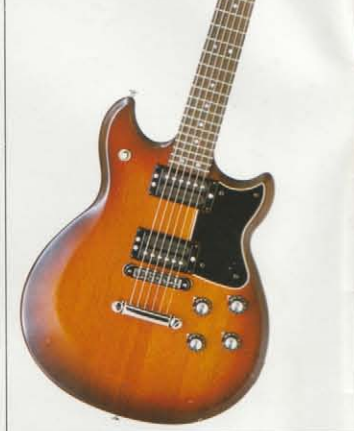
スーパー・フライター・ハンパッキングピックアップ——新しい音の心臓。高域特性がさらに飛躍、ブライトで、より鮮やかに高音が活きるハンパッキングピックアップ。のびのびとして、きりと明快なサウンドが魅力。ニックネームは“グレーハウンド” (SF全機種)



バイサウンドシステム——プッシュボタンスイッチを押す。ハンパッキングピックアップからシングルポピンの音が飛び出す。快適なアクションで、類を見ないサウンドバリエーションを弾き出す。(SF-1000)

SF-500 (BS)

メープル+アlderのラミネート削出しボディ。素材の良さを十分に活かし、中低域にかけていない音の広がりをもつ。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=ローズ
胴・指=デタッチャブル
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=H1060
重量=3.6kg
¥50,000



SF-500 (IW)

メープル+アlderのラミネート削出しボディ。素材の良さを十分に活かし、中低域にかけていない音の広がりをもつ。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=ローズ
胴・指=デタッチャブル
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=H1060
重量=3.6kg
¥50,000



SF-700 (ST)

メープル+アlderのラミネート削出しボディ。素材の良さを十分に活かし、中低域にかけていない音の広がりをもつ。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=ローズ
胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=H1060
重量=3.6kg
¥70,000



SF-700 (PR)

メープル+アlderのラミネート削出しボディ。素材の良さを十分に活かし、中低域にかけていない音の広がりをもつ。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=ローズ
胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=H1060
重量=3.6kg
¥70,000



SF-1000 (YN)

快適なアクション。ワンタッチプッシュボタン採用のバイサウンドシステム内蔵。幅広く、豊かなサウンドバリエーションを表現。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=エボニー
胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=アーニーボール・スーパーズリンキー
重量=3.6kg
¥100,000



SF-1000 (OS)

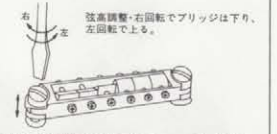
快適なアクション。ワンタッチプッシュボタン採用のバイサウンドシステム内蔵。幅広く、豊かなサウンドバリエーションを表現。
マイク=ハンパッキング×2
胴=メープル+アlder
指板=エボニー
胴・指=セットネック
糸巻=ヤマダイキャストトルク調整つき
弦=アーニーボール・スーパーズリンキー
重量=3.6kg
¥100,000



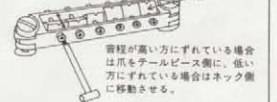
エレクトリックギター・チェックポイント&アフターケア

(I) 演奏前のチェックポイント

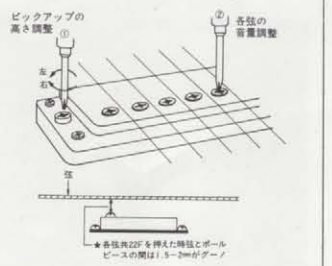
- ①弦は死んでいないか。〔弦の交換は早目に〕弦のび、サビつきなどで、音質劣化はどんどん進んでいる。〔弦の交換は1セットごと〕1弦ごとの張り替えは、他弦とのサウンドバランスがとりにくく、ハーモニクスに悪影響。できれば6本の弦全部を同時に取り替える。
- ②弦高(弦とフレットの間の間隔)は適正だろうか。弦高が高すぎて弾きにくい。弦がビリついて音が伸びない時は次の3ポイントをチェック。●上駒の高さ●ブリッジとテールピースの高さ●ネックのそり



- ③3オクターブピッチ調整は、完璧にチューニングされているだろうか。弦を張り替えたり、弦高調整を行なうと3オクターブピッチは狂ってくる。



- ④ピックアップのバランスはとれているだろうか。弦がピックアップをこすらず、ピックアップに影響しない範囲で、ピックアップは弦へ可能な限り近づける。



- ⑤糸巻は、適度なトルクに調整されているだろうか。演奏中のチューニングのくずれを少なくするために糸巻の回転トルクは少し固目に調整しよう。固いのネジを右に回すとトルクは固く、左に回すと柔らかくなる。

(II) 演奏後の注意

- ①プラグを抜くとき、強引に引っぱらない。
- ②弦やフィンガーボードの手あか、湿気を乾いた布でふきとっておく。サビはクリアーサウンドの敵だ。
- ③ギターケースに入れて保存。——湿気はギターの響きを殺し、直射日光はそり、ゆがみ、ひび割れの原因。

(III) 通常の取扱い

- ①ベルトのバックルや金属ボタンなどは、演奏時には避けよう。ギターを傷つけるもた。
- ②ギターの塗装、特にラッカー仕上の場合、長時間ゴムやビニールに接触していると、化学変化を起すことがあるので気をつけよう。

●ギターの名 ()内のアルファベットは、ボディのカラーを表し、NT=ナチュラル、YN=イローナチュラル、YS=サンバース、RS=レッドサンバース、BS=ブラウンサンバース、ST=スチール、OS=オリーブスチール、PR=パーシモンウッド、IW=アイボリーホワイト、BL=ブラック、BR=ブラック、CR=チェリーレッド